

都市再生整備計画 事後評価シート
上寺尾・中寺尾地区

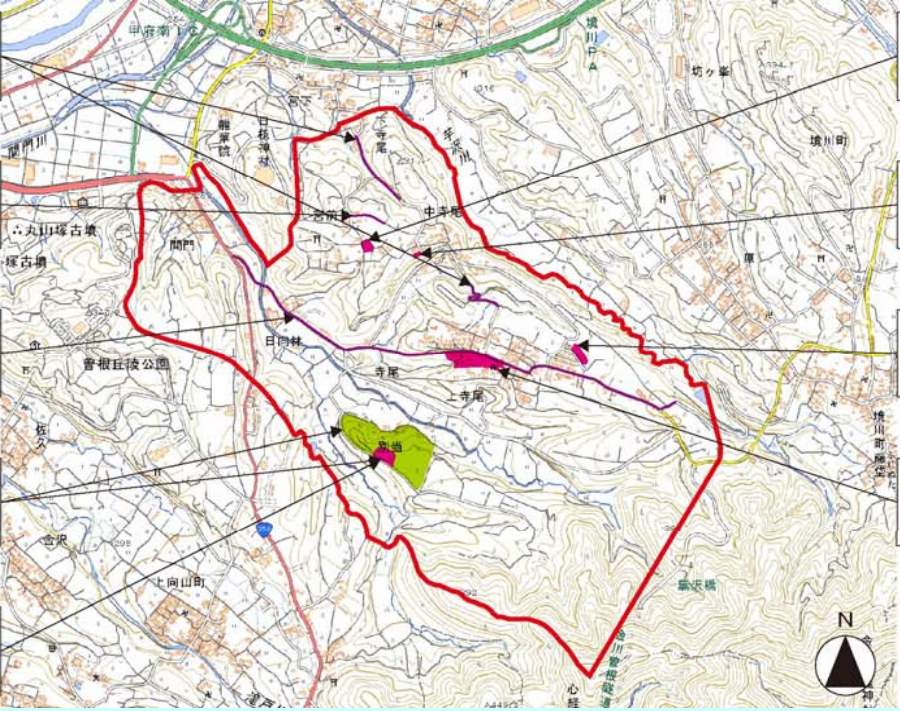

令和2年2月

山梨県笛吹市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山梨県		市町村名	笛吹市		地区名	上寺尾・中寺尾地区			面積	200ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	1,732.1百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道5215号線、市道2-60号線)、地域生活基盤施設(緑地、上寺尾コミュニティセンター広場、上寺尾地区内広場)、高次都市施設(交流センター施設、上寺尾コミュニティセンター、中寺尾コミュニティセンター)										
		提案事業	地域創造支援事業(防犯灯設置、観光交流センター、公民館撤去)										
			事業名					削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
提案事業		なし											
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	変更なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	地域の安全性向上に係る満足度	%	19	H25	30	H30		44.2	○	あり なし	一次避難地の整備や避難路の拡幅・改良を実施したことにより、住民の満足度が大幅に向上した。	-
	指標2	一次避難地等となる広場等の数	箇所	1	H25	3	H30		3	○	あり なし	本事業により一時避難地となる広場が計画通り整備され、目標の箇所数が確保された。	-
	指標3	交流センター施設及び温浴施設の利用者数	延人/年	0	H25	20,000	H30		66,325	○	あり なし	魅力の高い施設が整備されたことにより、地区内外から利用者が訪れており、目標が達成された。	-
指標4	地域イベントの開催回数	回/年	10	H25	25	H30		35	○	あり なし	コミュニティ施設の魅力や利便性が向上し、地域イベントに積極的に活用されており、目標が達成された。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	・住民説明会の開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			○	定期的な地域住民の意見の聞き取りを行い、効率的な施設の維持管理や今後の事業への反映を図っていく。			
	持続的なまちづくり体制の構築	・地域に伝わる神楽の伝承 ・夏祭りの継続的な開催 ・防災訓練の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			○	・神楽を伝承していくことにより、住民の地域への誇りや愛着を育むとともに、地域の活性化につなげていく。 ・夏祭りにより住民の交流を創出し、希薄化が危惧される地域コミュニティの活性化を図っていく。 ・防災訓練により、住民の意識啓発を図るとともに、災害発生時に施設が有効に活用できるような訓練を行う。			

様式2-2 地区の概要

上寺尾・中寺尾地区(山梨県笛吹市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 災害に強く安心して暮らせる地域基盤の強化を図り、恵まれた自然環境を活かした快適な魅力あるまちづくりを推進する 小目標1: 地域防災機能の向上と、安心安全な地域づくり 小目標2: 地域の自然や文化活動を通じた地域交流の推進・低炭素地域づくりの推進、資源循環型地域づくりの推進 小目標3: 地域住民が気軽に立ち寄れ、健康づくりや心身のリフレッシュの場の創出		地域の安全性向上に係る満足度	単位: %	19	H25	30	H30	44.2	H30
		一次避難地等となる広場等の数	単位: 箇所	1	H25	3	H30	3	H30
		交流センター施設及び温浴施設の利用者数	単位: 延人/年	0	H25	20,000	H30	66,325	H30
		地域イベントの開催回数	単位: 回/年	10	H25	25	H30	35	H30
		■ 基幹事業 市道2-60号線道路改良 市道5215号線道路改良 □ 提案事業 県道篤宿上曽根線防犯灯設置 ■ 基幹事業 ・緑地 ・交流センター施設 □ 提案事業 ・温浴施設		■ 基幹事業 中寺尾コミュニティセンター □ 提案事業 公民館撤去(中寺尾) ■ 基幹事業 上寺尾区内広場 ■ 基幹事業 ・上寺尾コミュニティセンター ・広場					
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none"> ・整備した一次避難地に安全に避難するために、避難路の安全性の向上や住民への周知を図る必要がある。 ・地域振興に向けて、新たな魅力の発掘や地域資源の活用が必要である。 ・地区の少子化や高齢化に伴い、地域コミュニティの希薄化が危惧される。 ・甲府・峡東ごみ処理センターの建設により、地区内のパッカー車の交通量が増加した。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> ・防災に対する市民の意識醸成を図り、自助、共助、公助による地域防災力の向上を図る。 ・住民や事業者との協働による効率的な施設の維持管理に取り組むとともに、魅力的なイベントの実施や施設のPRIに取り組み、さらなる利用者の増加を図る。 ・一次避難地等への避難路の設定と、経路の点検調査を行い安全性の向上を図るとともに、避難路の住民への周知を図る。 ・パッカー車の交通量交通量の増加に伴い、地区の交通安全確保のため、危険な交差点の交通安全対策を推進する。 ・地域資源の掘り起こしを行い、魅力を発信することにより、来訪者の増加など地域振興につなげる。 ・希薄化が危惧される地域コミュニティの維持・強化のための支援を行い、市民の自発的、自主的活動を促進する。 							

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- ~~添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測~~
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- ~~添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理~~

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- ~~添付様式9 有識者からの意見聴取~~

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道5215号線(道路改良)	18.3	L=126m W=4m	18.3	L=126m W=4m	変更なし	影響なし	○	
道路	市道2-60号線(道路改良)	71.6	L=500m W=6m	71.6	L=500m W=6m	変更なし	影響なし	○	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	緑地	700.0	A=4.5ha	845.5	A=4.5ha	用地単価及び補償物件の見直しによる事業費の増	影響なし	○	
地域生活基盤施設	上寺尾コミュニティセンター広場	77.5	A=5,000㎡	82.9	A=3,800㎡	用地単価の見直しによる事業費の増 測量成果による事業敷地面積の減	影響なし	○	
地域生活基盤施設	上寺尾区内広場	50.5	A=2,237㎡	50.5	A=2,237㎡	変更なし	影響なし	○	
高質空間形成施設									
高次都市施設	交流センター施設	367.5	建面585㎡	439.3	建面585㎡	用地単価及び補償物件の見直しによる事業費の増	影響なし	○	
高次都市施設	上寺尾コミュニティセンター	104.5	建面300㎡	104.5	建面300㎡	変更なし	影響なし	○	
高次都市施設	中寺尾コミュニティセンター	75.4	建面250㎡	70.0	建面250㎡	用地単価の見直しによる事業費の減 測量成果による事業敷地面積の減	影響なし	○	
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	防犯灯設置(県道鶯宿上曽根線)	1.3	22基	1.3	22基	変更なし	影響なし	○	
	観光交流センター(温浴施設)	262.5	建面415㎡	311.9	建面415㎡	用地単価及び補償物件の見直しによる事業費の増	影響なし	○	
	公民館撤去(中寺尾公民館)	3.0	延床136㎡	3.0	延床136㎡	変更なし	影響なし	○	
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
農道		上寺尾区内農道の新設	16.0	16.0	平成27年度～平成28年度	平成27年度～平成28年度	予定通り完了	
農道		上寺尾区内農道の新設	11.2	11.2	平成27年度～平成28年度	平成27年度～平成28年度	予定通り完了	
農道		上寺尾区内農道の拡幅	12.6	12.6	平成26年度～平成27年度	平成26年度～平成27年度	予定通り完了	
農道		上寺尾区内農道の新設	67.1	67.1	平成27年度～平成28年度	平成27年度～平成28年度	予定通り完了	
農道		上寺尾区内農道の新設	22.8	22.8	平成27年度～平成28年度	平成27年度～平成28年度	予定通り完了	
農道		上寺尾区内農道の拡幅	66.9	66.9	平成28年度～平成29年度	平成28年度～平成29年度	予定通り完了	
河川		間門川の浚渫	5.0	5.0	平成30年度	平成30年度	予定通り完了	
河川		蟹沢川の改修	22.0	22.0	平成30年度	平成30年度	予定通り完了	
河川		間門川の改修	22.0	22.0	平成30年度	平成30年度	予定通り完了	
河川		間門川の改修	2.0	2.0	平成30年度	平成30年度	予定通り完了	
温泉掘削事業		温泉掘削事業	150.7	150.7	平成26年度～平成29年度	平成26年度～平成29年度	予定通り完了	
甲府・峡東地域ごみ処理施設整備事業		甲府・峡東地域ごみ処理施設整備事業	7,414.0	7,414.0	平成26年度～平成30年度	平成26年度～平成30年度	予定通り完了	
廃棄物最終処分場整備事業		廃棄物最終処分場整備事業	6,334.0	6,334.0	平成26年度～平成30年度	平成26年度～平成30年度	予定通り完了	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		基準年度	目標年度	モニタリング	事後評価	達成度	達成度	あり	なし		
指標1	地域の安全性向上に係る満足度	%	令和元年7月に従前と同様の設 問にてアンケート調査を実施し、 地域の安全性向上に係る満足 度(満足、やや満足の合計値)を 計測し、評価値とする。		19	H25	30	H30	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 見込み	○	44.2	事後評価	○		
指標2	一次避難地等となる広 場等の数	箇所	令和元年7月に市資料により、 地区の一次避難地の箇所数を 計測し、評価値とする。		1	H25	3	H30	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 見込み	○	3	事後評価	○		
指標3	交流センター施設及び 温浴施設の利用者数	延人/年	令和元年7月に市資料により、 平成30年度1年間の交流セン ター及び温浴施設の利用者数 を計測し、評価値とする。		0	H25	20,000	H30	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 見込み	○	66,325	事後評価	○		
指標4	地域イベントの開催回 数	回/年	令和元年7月に、上寺尾、中寺 尾コミュニティセンターの利用記 録簿より、平成30年度1年間の イベントの開催数を計測し、評 価値とする。		10	H25	25	H30	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 見込み	○	35	事後評価	○		
指標5									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 見込み			事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	本事業により、地域の防災力向上につながる施設の整備が進んだことにより、満足度が2倍以上に向上し、目標が達成された。	
指標2	本事業により、2箇所の一次避難地が確保され、目標の3箇所が確保された。	
指標3	目標値である20,000人/年を大幅に上回る66,325人/年の利用者があり、目標が達成された。	
指標4	本事業により整備した2箇所のコミュニティセンターにおいて、従前より施設の魅力や利便性が向上したことにより、積極的な活用が図られており、イベントの開催回数が、2倍以上に増加し、目標が達成された。	
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
住民説明会の開催	予定どおり実施した	事業期間中、上寺尾地区、中寺尾地区それぞれで、毎年四半期に一回(年4回)住民説明会を開催した。 ○ 住民説明会で出された意見を踏まえ、実施設計を実施し、住民意向を十分に反映した施設整備を行った。	定期的に地域住民の意見の聞き取りを行い、効率的な施設の維持管理や、今後の事業への反映を図っていく。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
地域に伝わる神楽の伝承	予定どおり実施した		地域の貴重な歴史文化資源である神楽の伝承のために、住民有志が集まり活動を行っている。	寺尾神楽師会	地域の歴史文化資源である神楽を今後も伝承していくことにより、住民の地域への誇りや愛着を育み、さらには魅力の発信により、交流人口の増加や地域の活性化につなげていく。
	予定はなかったが実施した	○			
	予定したが実施できなかった (理由)				
夏祭りの継続的な開催	予定どおり実施した		上寺尾自治会が中心となり、毎年夏祭りを開催し、地域住民を中心に賑わいが生まれている。夏祭りの開催にあたっては、本事業で整備した広場やコミュニティセンターが活用されている。	上寺尾自治会	夏祭りにより住民の交流を創出し、少子高齢化や人口減少により希薄化が危惧される地域コミュニティの活性化を図っていく。
	予定はなかったが実施した	○			
	予定したが実施できなかった (理由)				
防災訓練の開催	予定どおり実施した		上寺尾自治会、中寺尾自治会が中心となり、毎年9月の防災の日に、防災訓練を実施している。	上寺尾自治会、中寺尾自治会	定期的な防災訓練の開催により、住民の意識啓発を図るとともに、災害発生時に整備した施設が有効に活用できるよう訓練を行う。
	予定はなかったが実施した	○			
	予定したが実施できなかった (理由)				

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
上寺尾・中寺尾地区都市再生整備計画事後評価庁内検討会議	関係各課リーダー級職員(防災危機管理課、土木課、農林土木課、環境推進課)	令和元年9月10日	環境推進課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

種別	事業名・箇所名	指標1		指標2		指標3		指標4	
		指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
			地域の安全性向上に係る満足度		一次避難地等となる広場等の数		交流センター施設及び温浴施設の利用者数		地域イベントの開催回数
基幹事業	(道路)市道5115号線(道路改良)	◎	本事業により、避難路となる道路の拡幅改良や、一次避難地となる広場の整備が行われ、地域の安全性向上に係る満足度が大幅に向上した。また、河川改修も実施し、災害の予防対策が進んでいる。	-	本事業により、新たに2箇所の一次避難地が整備され、地区内に計3箇所の一次避難地が確保された。地区の防災拠点が形成され、地域防災機能が向上した。また、整備した広場は、地域イベント等の地域住民が交流する場としても活用されている。	-	本事業により魅力の高い施設が整備され、地区内外から、目標を大幅に上回る利用者が訪れている。地域交流の場、健康づくりや心身リフレッシュの場が創出されており、事業の目標である、快適な魅力あるまちづくりが進んでいる。	-	本事業により、上寺尾コミュニティセンター及び中寺尾コミュニティセンターの改築が行われ、施設の魅力や利便性が大きく向上した。また、「いきいきサロン」などの活動が増加し、施設の積極的な活用が図られている。地域イベントが活発に開催され、地域の活性化につながっている。
	(道路)市道2-60号線(道路改良)	◎		-		-			
	(地域生活基盤施設)緑地	◎		-		◎			
	(地域生活基盤施設)上寺尾コミュニティセンター広場	◎		◎		-			
	(地域生活基盤施設)上寺尾区内広場	◎		◎		-			
	(高次都市施設)交流センター施設	◎		-		◎			
	(高次都市施設)上寺尾コミュニティセンター	◎		-		-			
提案事業	(地域創造支援事業)防犯等設置(県道鶯宿上曾根線)	◎	-	-	-	-			
	(地域創造支援事業)観光交流センター(温浴施設)	◎	○	◎	-	-			
	(地域創造支援事業)公民館撤去(中寺尾公民館)	○	-	-	-	○			
関連事業	(農道)上寺尾区内の農道の新設・拡幅	◎	-	-	-	-			
	(河川)間門川の浚渫	◎	-	-	-	-			
	(河川)蟹沢川の改修	◎	-	-	-	-			
	(河川)間門川の改修	◎	-	-	-	-			
	(温泉掘削事業)	-	-	-	◎	-			
	(甲府・峡東地域ごみ処理施設整備事業)	-	-	-	-	-			
(廃棄物最終処分場整備事業)	-	-	-	-	-				

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	整備した一次避難地等へ安全に避難するための避難路の安全強化や住民への周知を図り、さらなる満足度の向上を目指す。	大規模災害時に施設が有効に活用できるよう、ソフト面での地域防災機能の強化を図っていく。	施設の効率的な維持管理と魅力の維持を図り、さらなる利用者数の増加を目指す。	住民活動への支援を強化し、地域の活性化や交流人口の増加につなげていく。

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
上寺尾・中寺尾地区都市再生整備計画事後評価庁内検討会議	関係各課リーダー級職員（防災危機管理課、土木課、農林土木課、環境推進課）	令和元年9月10日	環境推進課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
災害に強く、住民が安心して生活できる基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> 上寺尾コミュニティセンター広場、上寺尾地区内広場の整備により大災害時の一次避難地や緊急時集合場所が確保され、地域防災機能の向上が図られた。 市道5215号線や市道2-60号線の道路改良により、災害時の避難路の機能向上が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備した一次避難地に安全に避難するために、避難路の安全性の向上や住民への周知を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 甲府・峡東ごみ処理センターの建設により、地区内のパッカー車の交通量が増加した。
ごみ処理施設及び最終処分場整備事業を契機とした地域振興策や循環型社会構築に寄与する温室効果ガス削減	<ul style="list-style-type: none"> 甲府・峡東地域ごみ処理施設の整備により、循環型社会の構築に向けた施設整備が図られた。また、ごみ処理施設の余熱を利用して、温浴施設の整備が図られ、地域振興につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域振興に向けて、新たな魅力の発掘や地域資源の活用が必要である。 地区の少子化や高齢化に伴い、地域コミュニティの希薄化が危惧される。 	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	・地域防災機能の向上	・防災に対する市民の意識醸成を図り、自助、共助、公助による地域防災力の向上を図る。	・防災訓練の実施など、市民意識啓発事業 ・自主防災組織への支援事業
	・施設の効率的な維持管理と魅力の向上	・住民や事業者との協働による効率的な施設の維持管理に取り組むとともに、魅力的なイベントの実施や、施設のPRに取り組み、さらなる利用者の増加を図る。	・住民との協働による施設の維持管理事業 ・地域でのイベント開催への支援事業 ・寺尾の湯のPR事業

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	・避難路の安全性向上と住民への周知	・一次避難地等への避難路の設定と、経路の点検調査を行い安全性の向上を図るとともに、避難路の住民への周知を図る。	・地域との協働による避難路の設定と点検調査事業 ・避難路の改善事業(ブロック塀の改善等)
	・道路の交通安全対策	・パッカー車の交通量の増加に伴い、地区の交通安全確保のため、危険な交差点の交通安全対策を推進する。	・交差点等の安全対策事業(標識の設置等)
	・新たな魅力の発掘と地域資源の活用	・地域資源の掘り起こしを行い、魅力を発信することにより、来訪者の増加など地域振興につなげる。	・地域資源の発掘と活用事業 ・豊かな景観の保全・活用事業 ・観光情報等の発信事業
	・地域コミュニティの維持・強化	・希薄化が危惧される地域コミュニティの維持・強化のための支援を行い、市民の自発的、主体的活動を促進する。	・地域コミュニティ(行政区)の機能強化のための支援事業

・未達成の目標を達成するための改善策
・未解決の課題を解消するための改善策
・新たに発生した課題に対する改善策

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	地域の安全性向上に係る満足度	%	19	H25	30	H30	確定	○	44.2	○	あり	-		
							見込み				なし			
指標2	一次避難地等となる広場等の数	箇所	1	H25	3	H30	確定	○	3	○	あり	-		
							見込み				なし			
指標3	交流センター施設及び温浴施設の利用者数	延人/年	0	H25	20,000	H30	確定	○	66,325	○	あり	-		
							見込み				なし			
指標4	地域イベントの開催回数	回/年	10	H25	25	H30	確定	○	35	○	あり	-		
							見込み				なし			
指標5							確定				あり	-		
							見込み				なし			
その他の数値指標1							確定							
							見込み							
その他の数値指標2							確定							
							見込み							
その他の数値指標3							確定							
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	想定以上の事業効果が発揮され、4つの数値指標の全てを達成することができた。	
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	市民にわかりやすい数値目標を設定し、事業効果を明確に示すことができた。	数値目標の設定にあたっては、事業効果を適切に示す指標を設定し、市民にわかりやすく説明していく必要がある、
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	地区の要望を十分に取り入れながら実施設計を進め、適切に事業を進めることができた。	事業の実施にあたっては、住民参加を積極的に取り入れ、地域要望に合った事業を実施する必要がある。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	事後評価の実施により、地区の残された課題や新たに発生した課題が明確になり。今後のまちづくり方策が適切の設定された。計画的に効果の高いまちづくり施策を展開していくことができた。	事後評価で地区の課題を明確にし、今後のまちづくりにつなげていくことは、効率的な事業展開に有効である。 モニタリングを実施し、計画内容を適切に見直ししていく必要がある。 まちづくり方策について、より具体的な内容を庁内で検討し、明確にしていく必要がある。
	うまく いかなかった点	モニタリングを実施し、中間年度で状況を確認すれば、より効果の高い事業を展開することが可能である。	
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

- ・都市再生整備計画事業の活用予定
なし
- ・事後評価を予定している地区
なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに事後評価原案を掲載	令和元年12月2日～ 令和元年12月16日	令和元年12月2日～ 令和元年12月16日	担当課への郵便、 ファックス、Eメール等	環境推進課
広報掲載・回覧・個別配布	市ホームページ及び環境推進課窓口で原案を公表している旨を広報に掲載	令和元年12月1日発行 広報12月号	令和元年12月2日～ 令和元年12月16日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	窓口閲覧	令和元年12月2日～ 令和元年12月16日	令和元年12月2日～ 令和元年12月16日		

住民の意見	特になし				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員					
その他の委員	都市計画審議会 会長 市議会 教育厚生常任委員会 委員長 市議会 教育厚生常任委員会 副委員長 市消防団 境川分団長	令和2年1月20日	環境推進課	上寺尾・中寺尾地区社会資本整備総合交付金 評価委員会設置要領	独自に設置

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	—
	成果の評価	「交流センター施設及び温浴施設の利用者数」は目標値の3倍以上となっているが、施設規模に対して適正な利用者数となっているのか確認していく必要があるとの意見があった。
	実施過程の評価	施設の整備にあたっては、地区住民の意見が十分に反映され、満足度の大幅な向上につながっているとの意見があった。
	効果発現要因の整理	「地域イベントの開催回数」が増加した理由を具体的に示す必要があるとの意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	事後評価原案は、市民にわかりやすく公表されたことが確認された。
	その他	今回は防災に関する整備が満足度の向上につながったとの意見があった。防犯に関しても取り組んでいく必要がある。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	通学路の交通安全対策は、十分に行う必要があるとの意見があった。
	フォローアップ	特になし
	その他	整備した施設を有効に活用できるよう、市民等から提案も踏まえ、さらに今後の取り組みを検討していただきたいとの意見があった。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	特になし	

都市再生整備計画 第1回変更

かみてらお なかてらお ちく
上寺尾・中寺尾地区

やまなしけん ふえふきし
山梨県 笛吹市

平成26年9月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>■整備方針1: 地域防災機能の向上と、安全・安心な地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時の一次避難地や緊急集合場所となる広場を整備し、地区の防災拠点としての場の形成することで地域防災機能の向上を図る。 ・災害時の避難路として機能し、また安全・安心な地域づくりを推進するための生活道路として、既存道路の拡幅整備や街路灯を設置を行う。 	<p>【基幹事業】</p> <p>道路事業: 道路(市道5215号線改良)</p> <p>道路事業: 道路(市道2-60号線道路改良)</p> <p>地域生活基盤施設: 広場(上寺尾コミュニティセンター広場、上寺尾地区内広場)</p> <p>【提案事業】</p> <p>高質空間形成施設: 県道鶯宿上曾根線防犯灯設置</p> <p>【関連事業】</p> <p>農道(上寺尾区内農道の拡幅2・3、新設2・3・4・5)</p> <p>河川(間門川の浚渫、蟹沢川の改修、間門川の改修)</p>
<p>■整備方針2: 地域の自然や文化活動を通じた地域交流の推進、低炭素地域づくりの推進、資源循環型地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全活動、地域イベント等の地域住民が交流する緑地、広場、施設を整備し、多様な都市活動の場を創出する。 	<p>【基幹事業】</p> <p>地域生活基盤施設: 緑地(緑地)</p> <p>地域生活基盤施設: 広場(上寺尾コミュニティセンター広場、上寺尾地区内広場)</p> <p>高次都市施設: 観光交流センター(交流センター施設)</p> <p>高次都市施設: 地域交流センター(上寺尾コミュニティセンター、中寺尾コミュニティセンター)</p> <p>【提案事業】</p> <p>地域生活基盤施設: 公民館撤去(中寺尾公民館)</p> <p>【関連事業】</p> <p>甲府・峡東地域ごみ処理施設整備事業</p> <p>廃棄物最終処分場整備事業</p>
<p>■整備方針3: 地域住民が気軽に立ち寄れ、健康づくりや心身のリフレッシュの場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が気軽に立ち寄れる浴場等を整備し、安全快適な心身の健康づくりを図る。 ・環境体験学習室や交流プラザ等を整備し、里山環境に理解を深めつつ、学習や体験を通して心身をリフレッシュする場を創出する。 	<p>【提案事業】</p> <p>高次都市施設: 観光交流センター(温浴施設)</p> <p>【関連事業】</p> <p>温泉掘削事業</p>
<p>その他</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,999	交付限度額	799	国費率	0.40
---------	-------	-------	-----	-----	------

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度	うち官負担分		うち民負担分			
道路		市道5215号線(道路改良)	笛吹市	直	L=126m W=4m	H29	H30	H29	H30	18.3	18.3	18.3	18.3	
道路		市道2-60号線(道路改良)	笛吹市	直	L=500m W=6m	H29	H30	H29	H30	71.6	71.6	71.6	71.6	
公園														
事及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	緑地	緑地	笛吹市	直	4.5ha	H26	H28	H26	H28	845.5	845.5	845.5	845.5	
地域生活基盤施設	広場	上寺尾コミュニティセンター広場	笛吹市	直	A=3800㎡	H26	H28	H26	H28	82.9	82.9	82.9	82.9	
地域生活基盤施設	広場	上寺尾区内広場	笛吹市	直	A=2237㎡	H28	H30	H28	H30	50.5	50.5	50.5	50.5	
高質空間形成施設														
高次都市施設	観光交流センター	交流センター施設	笛吹市	直	建面585㎡	H26	H28	H26	H28	439.3	439.3	439.3	439.3	
高次都市施設	地域交流センター	上寺尾コミュニティセンター	笛吹市	直	建面300㎡	H26	H28	H26	H28	104.5	104.5	104.5	104.5	
高次都市施設	地域交流センター	中寺尾コミュニティセンター	笛吹市	直	建面250㎡	H26	H27	H26	H27	70.0	70.0	70.0	70.0	
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,682.6	1,682.6	1,682.6	0.0	1,682.6
提案事業														
事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度	うち官負担分		うち民負担分			
地域創造支援事業	防犯灯設置	県道鶯宿上曽根線	笛吹市	直	22基	H28	H29	H28	H29	1.3	1.3	1.3	1.3	
	観光交流センター	温浴施設	笛吹市	直	建面415㎡	H26	H28	H26	H28	311.9	311.9	311.9	311.9	
	公民館撤去	中寺尾公民館	笛吹市	直	延床136㎡	H26	H26	H26	H26	3.0	3.0	3.0	3.0	
事業活用調査													0.0	
まちづくり活動推進事業													0.0	
合計										314.9	314.9	314.9	0.0	316.2
												合計(A+B)	1,998.8	

(参考)関連事業												
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費	
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度		
農道	上寺尾区内農道の新設2	笛吹市		L=100m W=4m		○				H27	H28	16.0
農道	上寺尾区内農道の新設3	笛吹市		L=70m W=4m		○				H27	H28	11.2
農道	上寺尾区内農道の拡幅2	笛吹市		L=90m W=4m		○				H26	H27	12.6
農道	上寺尾区内農道の新設4	笛吹市		L=400m W=6m		○				H27	H28	67.1
農道	上寺尾区内農道の新設5	笛吹市		L=170m W=4m		○				H27	H28	22.8
農道	上寺尾区内農道の拡幅3	笛吹市		L=340m W=6m		○				H28	H29	66.9
河川	間門川の浚渫	山梨県						○		H30	H30	5.0
河川	蟹沢川の改修	山梨県						○		H30	H30	22.0
河川	間門川の改修	山梨県						○		H30	H30	22.0
河川	間門川の改修	笛吹市		L=40m				○		H30	H30	2.0
温泉掘削事業	温泉掘削事業	※		掘削深度1500m				○		H26	H29	150.7
甲府・峡東地域ごみ処理施設整備事業	甲府・峡東地域ごみ処理施設整備事業	甲府・峡東一部ごみ処理組合		8.5ha				○		H26	H30	7,414.0
廃棄物最終処分場整備事業	廃棄物最終処分場整備事業	山梨県市町村総合事務組合		30万t				○		H26	H30	6,334.0
合計												14,146.3

※山梨県・山梨県市町村総合事務組合・笛吹市・甲府峡東地域ごみ処理事務組合